すべては患者さんのために

みなみなねっと

2023 5月号

発行：社会医療法人 将道会 総合南東北病院

〈写真：呼吸器外科科長　志賀 光二郎医師〉
詳しくは3ページをご覧ください。

- 頻尿、尿意切迫感や膀胱部痛に悩んでいる人の苦痛を食事療法で和らげるには。
  副院長　人見　浩
- 令和5年度新入職員辞令交付式が行われました
- 献血バスによる献血が行われました
- 呼吸器外科の診療を開始しました
- ワンポイントリハビリ　福祉用具について　part1
  リハビリテーション科　作業療法士　菊地 真弓
- 医師紹介

社会医療法人 将道会 総合南東北病院
〒989-2483 宮城県岩沼市里の杜1丁目2番5号
TEL：0223-23-3151　FAX：0223-23-3150

随時更新中
当院ホームページへアクセス
岩沼　総合南東北病院　検索
http://www.minamitohoku.jp/

頻尿、尿意切迫感や膀胱部痛に悩んでいる人の苦痛を食事療法で和らげるには。

総合南東北病院
副院長　人見　浩

軽い膀胱炎様の症状を訴える方がおりますが、検査をしても異常が見つかりません。そのような方は、治療の対象にはなりませんが、食事を注意すればよくなる可能性があるようですので、今回はそのことをお知らせしたいと思います。

頻尿や尿意切迫感に悩む人の膀胱粘膜は、過敏になっていたり弱まっていることが多いと考えられます。そのため膀胱粘膜に刺激を与えるような食べ物を控えることで、症状を和らげられる可能性があります。

気をつけたい食事：

1. コーヒー、緑茶、ウーロン茶、紅茶、コーラなどカフェインが含まれている飲み物を控える。（炭酸飲料も膀胱の粘膜を刺激する可能性があります。チョコレートもカフェインが含まれているものもあります。）
2. アルコールを控える。（赤ワインも要注意。）
3. ミカン、オレンジ、グレープフルーツ、トマト、酢の物など酸っぱいものを少なくする。（柑橘類ではグレープフルーツが要注意。トマトは酸味の強いのを避け、完熟しているものを食べる。）
4. チョコレート、ナッツ、豆乳など豆加工食品を控える。
5. トウガラシなど辛いものを避ける。
6. できるだけ加工食品を避け、新鮮なもの食べる。（加工食品には酸化防止剤や着色料などの化学物質が多く含まれていますので、そのような化学物質に敏感な方は症状が出る可能性があります。）
7. 1日1000～1500mlの水を飲む。（カフェインが入っていない飲み物。麦茶、ミネラルウォーターのほか、利尿作用のないハーブティーなど。）
8. 尿もれで悩んでいる人で主食をパンで、しかもライ麦パンなどのように膀胱を刺激する酸味が強いものを食べている人はご飯にした方がよいとのことです。ご飯にはそうした危険性がないとのことです。

上記にあげた食品はあくまでも注意食品であり、禁止するということではありません。
頻尿や尿意切迫感、膀胱部痛など気になる症状が出るのは、食後1～8時間くらいで出てきます。
症状が出た前夜と当日に食べたものの中で、繰り返して食べていたものがあれば、それが要注意食品になります。

自分の症状を悪化させる食品が分かりましたら、調子の悪いときや少し症状の出たときに、避けるようにしてください。

全く食べるなということではありません。体の調子のいいときは食べてもいいです。

いろいろと注意することをあげましたが、まずは、自分でできることから始めてみてください。

令和5年度新入職員辞令交付式が行われました

令和５年４月１日（土）、当院８階第一会議室で令和５年度新入職員辞令交付式が執り行われました。

式では、松島忠夫理事長特別補佐監兼執行本部長より「新しい力が加わったことは非常に喜ばしく、歓迎いたします。元気に活躍されることを祈念します。」と激励の言葉があり、西村真実院長も「私たちは医療従事者です。患者さんに寄り添う気持ち、患者さんの不自由や苦労を分かろうとする気持ちを持って接してほしい。一緒に頑張りましょう。」と新入職員を鼓舞しました。介護老人保健施設サニーホーム 人見 浩施設長からは「色々な患者さんや利用者さんと話をする機会が多くあると思います。表情・身だしなみ・立ち居振る舞いはとても大切です。相手の気持ちに寄り添った表情を向けるという意識を持って接してください。今後の活躍に期待しています。」と歓迎の挨拶がありました。

続いて西村真実院長より新入職員代表者の赤間 紀子副看護部長へ辞令が交付されました。

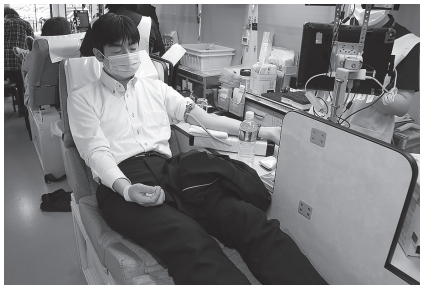
辞令交付式後は２日間にわたり基本理念や病院でのルール、接遇研修など全体オリエンテーションを受け、各部署へ配属となります。

南東北グループの令和５年度新入職員は総勢576名で、そのうち当法人は49名の職員を迎え、新たな体制で新年度をスタートしました。

献血バスによる献血が行われました

令和５年３月24日（金）当院正面玄関入口にて、岩沼市献血推進事業の一環として献血バスによる献血が行われました。

今回は一般の方と当院職員合わせて14名（400㎖献血）の方の協力が得られました。皆様の温かいご協力をありがとうございました。



呼吸器外科の診療を開始しました

呼吸器外科のご紹介

呼吸器外科疾患全般（肺がん（原発性、転移性）、気胸、膿胸、縦隔腫瘍、胸壁、横隔膜疾患、胸部外傷および気道熱傷など）を対象に診断から治療まで行っています。診断においては、EBUS-GSという気管支鏡の中に細いエコーを通して細胞を採取する器材や、EBUS-TBNAという気管支の側の腫れたリンパ節を刺して細胞を採取する器材、さらに仮想気管支鏡という、大変新しい器材を取り揃えております。加えて手術においては、現在、蛍光色素と専用の内視鏡の準備を進めております。

呼吸器外科では「安全を第一に、世界的視野に立ちながら、地域の皆さまと共に歩んでいく」所存です。

ご挨拶

2023年1月に着任した呼吸器外科の志賀です。主に南東北グループ、ハワイ大学外科への留学等で、世界最先端のロボット手術をはじめ、単孔式胸腔鏡下手術（小さな1つだけの創での内視鏡の手術のこと）など、厳しい研鑽を積んで参りました。また、慶應義塾大学病院救急科で最先端の救急外傷を修めた経歴、東日本大震災被災者支援医療やCOVID-19診療を指揮した経歴もあります。さらにアジアや全国の若き外科医や救急医の教育や、医療に携わるスタッフや学生への教育にもあたっており、論文や書籍等の発刊も行っております。これらの経験を生かし、胸腔鏡手術や開胸手術、局所麻酔科下手術まで、患者さんの病状や社会的背景に応じて、適切な治療法を一緒に相談しながらすすめていきます。

患者さんやご家族が安心して傷病に向き合えるよう、ご紹介頂いた先生方を始めとして当院の診療各科・リハビリテーション科・看護部などと連携・協力して参ります。

「和」を大切にし、「気診心診」、「優しさ」と「進化」の心構えを持ち、患者さんやご家族の人生に寄り添い、時に一緒に悩み、これからも地域の皆さまと共に歩んで参ります。

プロフィール

呼吸器外科科長
志賀 光二郎（しが こうじろう）

＜資格＞
日本ロボット外科学会専門医
（呼吸器外科）
日本外科学会専門医
日本救急医学会救急科専門医

平成11年3月	福島県立安積高等学校卒業
平成14年4月	岩手医科大学入学
平成20年3月	岩手医科大学卒業
平成20年4月	岩手県立中央病院　初期臨床研修医
平成22年4月	慶應義塾大学医学部救急医学教室　専修医・助教
平成23年4月	栃木県済生会宇都宮病院　外科
平成24年4月	岩手県立中央病院　呼吸器外科
平成25年4月	慶應義塾大学医学部救急医学教室　専修医・助教
平成26年4月	岩手県磐井病院　外科医長・救急医療科医長
	岩手医科大学大学院　衛生学公衆衛生学　入学（津波被災と呼吸機能）
平成27年4月	総合南東北病院（郡山市）呼吸器外科医長
平成28年4月	盛岡友愛病院　呼吸器外科副部長
平成30年1～2月	Hawaii University, General Surgery
3月	岩手医科大学　大学院卒業（医学博士）
平成30年5月	新百合ヶ丘総合病院　呼吸器外科医長・感染対策室室長
令和元年6月～	名古屋産業大学客員教授（臨床医学）兼任
令和3年1月	八戸赤十字病院　呼吸器外科部長
令和5年1月～	現職

ワンポイント
リハビリ

福祉用具について　part1

リハビリテーション科　作業療法士　**菊地 真弓**

車椅子や歩行器をはじめとした福祉用具は、加齢や疾患などにより低下した身体機能を補うとともに、介護の負担を軽減するように工夫されています。

効果的に利用することで自立につながる福祉用具ですが、うまく使いこなせずに放置してしまったり、過剰な機能によって自立の妨げになってしまうケースもあります。

そのため、身体状況、家屋環境、対象者の希望、介護の負担などを多角的に検討して、福祉用具の選択と使い方を見極めることが重要です。

介護保険の利用により福祉用具を1割程（収入により2～3割）の負担でレンタル、または購入することが可能です。（※要介護度により対象の範囲が異なります。）また手すりの設置や段差解消等の住宅改修を行うことも可能です。

＜福祉用具を活用するメリット＞

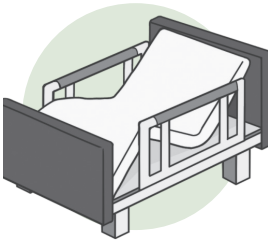
・自立の可能性を高める
・活動できる範囲を広げる
・介護の負担を軽減する
・安全な環境づくり

＜福祉用具の例＞

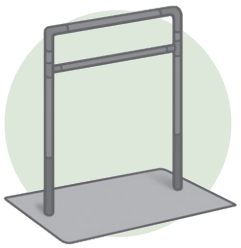
車椅子

歩行器

介護ベッド



置き型手すり



当院リハビリテーション科では退院に向けてご自宅の環境を写真等で確認させていただき、家屋環境に合わせた福祉用具導入や住宅改修の提案を行うとともに、使用方法の練習や指導を行っています。また退院前にはケアマネージャーやサービス担当者と退院後の具体的なサービスや支援体制についてカンファレンスを実施し、安心・安全に在宅生活に戻れるよう支援を行っています。

次号では介護保険で提供される住環境整備に関するサービスとして福祉用具貸与、特定福祉用具購入の種類、住宅改修について詳しくご紹介します。

【参考】
玉垣努・渡邉愼一「福祉用具・住環境整備の作業療法」2013

医師紹介

令和5年4月1日付で、当院に着任した医師を紹介します。

中川　学
（なかがわ　まなぶ）

診療科…放射線科
専門分野…CT、MRI、核医学（PET含む）の画像診断

ひとこと…今まで得てきた知識を元に、地域・病院の皆様のお役に立てるよう取り組んでいきます。これから宜しく御願い致します。

横山　直信
（よこやま　なおのぶ）

診療科…消化器内科
専門分野…消化器一般、炎症性腸疾患、内視鏡治療

ひとこと…地域の皆様にお役に立てるよう努力します。どうぞよろしくお願い致します。

四條　友望
（しじょう　ともみ）

診療科…脳神経内科
専門分野…神経変性疾患

ひとこと…地域の皆様のお役に立てるよう、精一杯努めさせて頂きます。どうぞ宜しくお願い致します。

猪股　洋平
（いのまた　ようへい）

診療科…整形外科
専門分野…整形外科、脊椎一般

ひとこと…以前勤めていた南東北病院に戻ることとなりました。地域医療の一助となれるよう頑張っていきます。

浪岡　靖弘
（なみおか　やすひろ）

診療科…脳神経内科

ひとこと…よりよい診療をできるよう日々励んで参ります。よろしくお願いいたします。

大槻　紀亜良
（おおつき　きあら）

診療科…整形外科

ひとこと…福島出身で宮城はお初です。猪股先生をはじめ、皆様のお役に立てるよう尽力します。

髙橋　誠陽
（たかはし　せいや）

臨床研修医

ひとこと…悔いのない研修期間を送れるよう、日々精進します。積極的に行動し、多くのことを吸収したいと思っています。

永田　英之
（ながた　ひでゆき）

臨床研修医

ひとこと…地域の医療の力に少しでもなれるよう、頑張ります。

洞口　学志
（づぐち　さとし）

臨床研修医

ひとこと…皆様のお役に立てるように、日々精進し、精一杯頑張りたいと思います。

3月の救急車搬入件数

岩　沼	65(74)台	仙　南	27(　18)台
名　取	37(63)台	その他	5(　6)台
亘　理	53(59)台	合　計	187(220)台

※(　)内は令和4年3月の件数

個人情報保護法施行により、紙面に掲載されている写真はご本人の承諾を得て掲載しております。